

## IBM Globalization Pipeline for Bluemix

以下に記載される場合を除き、IBM Bluemix の「サービス記述書」のいずれか該当する条件が適用されます。

### 1. クラウド・サービス記述書

IBM Globalization Pipeline for Bluemix サービスは、DevOps に統合された翻訳管理プラットフォームです。これにより、開発者は異なる言語で書かれたアプリケーション・コンテンツを翻訳、保管および管理できるようになります。このサービスのダッシュボード機能、REST API、および SDK を利用すると、ユーザーは各自のアプリケーション・コンテンツを翻訳し、自動的にデプロイできます。Globalization Pipeline for Bluemix では、選択した主な市場の言語で翻訳を提供する一般的な機械翻訳エンジンを利用しています。ユーザーは、課金対象の機械翻訳エンジン・サービス (例えば、IBM Watson Language Translator) と統合することを選択し、追加料金により、これらのサービスを通じてより多くの言語を管理できます。

さらに、Globalization Pipeline は、お客様がアプリケーション・コンテンツを送信し、プロの翻訳者にレビュー、編集、および翻訳を依頼できる機能も備えています。この機能は、以下のサービス測定基準の「ワード」に基づいて課金されます。かかる測定基準では、ワード・カウントは翻訳ソース・テキスト、およびリソースのキーが 1 である最小ワード・カウント (値に Unicode 文字が含まれていない場合) に基づきます。サポート対象のソースおよびターゲット言語は、サービス文書に記載されています。

お客様がこの機能の使用を選択した場合:

- お客様は、IBM が翻訳サービスを遂行するために第三者の従契約者 (以下「従契約者」といいます。) を使用することに同意し、IBM がお客様の資料を「従契約者」と共有することを許可します。機密情報または個人情報を従契約者と共有することをお客様が望まない場合、お客様は、サービスを使用する前にかかる情報を削除する責任を負います。
- 翻訳された著作物は、職務著作物です。翻訳された著作物が法律上の「職務著作」として認められない限りにおいて、IBM は、翻訳された著作物に対する一切の著作権を、本契約によりお客様に譲渡します。
- 翻訳者による翻訳サービスは、業界のベスト・プラクティスで遂行されます。かかるサービスは、「現状有姿」で提供されます。IBM は、翻訳者による編集後の翻訳済みテキストの正確性または完全性について、いかなる表明も保証もしません。
- サービス・ダッシュボードに表示される、翻訳者によるレビューおよび編集のターンアラウンド・タイムは、推定値にすぎません。IBM は、ターンアラウンド・タイムの推定値に関していかなる表明も保証もしません。

### 2. セキュリティーの内容

お客様は、本「クラウド・サービス」では、個人データ、センシティブ個人データ、または追加の規制要件の対象となるデータを含むコンテンツを保護するためのフィーチャーが提供されないことを認識しています。お客様がお客様のコンテンツにかかるデータを含める場合、お客様は、技術的および運用上のセキュリティー対策が保護対象のデータの性質および処理することにより提示されるリスクに対して適切だと判断した後、本契約に従ってかかるデータを処理するよう IBM に指示します。お客様は、IBM が、コンテンツに含まれているデータのタイプを把握していないこと、および「クラウド・サービス」の適合性や適用中のセキュリティー保護に関して評価を行えないことに同意します。

### 3. エンタイトルメントおよび課金情報

#### 3.1 課金単位

「クラウド・サービス」は、以下の課金単位に従って提供されます。

**インスタンス** – 「インスタンス」とは、「クラウド・サービス」の特定の構成へのアクセスを意味します。お客様は、請求期間中の各月の「クラウド・サービス」の各インスタンスに対して課金されます。

**メガバイト** –1 「メガバイト」とは、2 の 20 乗バイトです。お客様は請求期間の各月において「クラウド・サービス」で分析、使用、または構成される全体または一部の「メガバイト」の最大値に対して課金されます。

**ワード** – 「ワード」とは、ユニコード規格の付録 29 号「ユニコード・テキスト・セグメンテーション」(Unicode Standard Annex #29 Unicode Text Segmentation) に規定される境界による言語の単位で、最小 1 文字が含まれます。お客様は、請求期間中、「クラウド・サービス」に送信される「ワード」数について課金されます。